

名張廃寺

<http://digitalarchiveproject.jp/information/名張廃寺/>



所在地 岐阜県高山市国府町名張道玄 よしきぐんこくふちょうなぱりどうげん

立地環境 宮川左岸の平地にあり、石橋廃寺の対岸に位置する。浄覚寺の西側微高地にあり、周辺には十二相古墳がある。

発見遺物 過去に採取された瓦が一括一之宮神社に所蔵されている。(第1図1～3)。

三重圏縁単弁十弁蓮華文軒丸瓦、単弁十弁蓮華文軒丸瓦、重弁八弁蓮華文軒丸瓦、四重弧文軒平瓦、二重弧文軒平瓦がある。中には、丸山古窯跡、石橋廃寺と同範のものがある。

鳥を描いた線刻絵画瓦も出土している。

年代 7世紀後半～

遺跡の概要 名張廃寺出土の重弁軒丸瓦(図1-1)は、新羅の様式を取り入れたもの。飛驒で唯一の型式、東海地区でも珍しい瓦である。この瓦は石橋廃寺でも出土しており、軒丸瓦の共用関係が知られる。

<参考文献>

国際古代史シンポジウム実行委員会編集『国際古代史シンポジウム・イン・矢吹「東アジアにおける古代国家成立期の諸問題」飛鳥・白鳳時代の諸問題Ⅱ』146頁 国際古代史シンポジウム実行委員会発行 平成8年

東海埋蔵文化財研究会『古代仏教東へ ― 寺と窯』寺院 第9回東海埋蔵文化財研究会岐阜大会 1992



0051_遠景(西北から)



0052_遠景(西北から)



0053_遠景(西北から)



0054_遠景(西北から)



0055_遠景(西北から)



0056_遠景(西北から)



0057_遠景(西北から)



0058_遠景(西北から)



0059_遠景(西北から)



0060_遠景(西北から)



0061_遠景(西北から)



0062_遠景(西北から)



0063_遠景(西北から)



0064_遠景(西北から)



0065_遠景(西北から)



0066_遺跡本体四方



0067_遺跡本体四方



0068_遺跡本体四方



0069_遺跡本体四方



0070_遺跡本体四方



0071_遺跡本体四方



0072_遺跡本体四方



0073_遺跡本体四方



0074_遺跡本体四方



0075_遺跡本体四方



0076_遺跡本体四方